

「さとやま」文化を活かした元気再生事業

NPO法人中国・地域づくりハウス ● 浅野ジュン事務局長

庄 原市との付き合いは、庄原市自治振興課と平成19年度に庄原市の女性約50人の方々を中心に、庄原市の地域づくりリーダー育成研修のワークショップを一緒に3カ月間実施したのがきっかけです。その時、皆さんが庄原市を元気にする計画を作成しました。

ワークショップを総括してみると、中山間地域は人口減少・高齢化が進む中で、住民を中心とした取り組みでは限界があり、地域内の多様な主体や都市側の人との連携の必要性を感じました。今まで、さまざまな都市側との交流が行われてきていますが、住民、行政、観光客、NPOなどの意識や価値観のズレが多少あるようです。それを解消するために、継続して、さまざまなネットワーク（場づくり）が必要だと思いました。その場をつくり、実践することで、新たな中山間地域の活力とコミュニティが生まれてくるのではと、内閣府の「地方の元気再生事業」に手を挙げました。全国1,186件の応募から120件が採択され、「庄原市里山文化・元気再生事業ネットワーク協

議会」が提案した庄原市での「さとやま（里山）文化を活かした元気再生事業案」も選定されました。活動の取り組みとして3つの柱を立ちました。①里山の「世話好きおばちゃん達」いきいき元気大作戦事業、②市域を越えた都市と農山村の共生型観光の実験事業、③集落内での「里山暮らし」お試し体験事業です。

庄 原市自治振興課などのご協力や連携を得て、まず、7つの自治振興区連絡協議会に説明に上がりましたが、私たちの説明不足や時間的制約、それと地域の行事などとの調整が取れず、本年度はすべてのまちで、皆さんと事業をすることができませんでした。しかしながら、地域の方々と行動をすることで、庄原市の資源の豊富さに驚くとともに、「庄原応援団ワークショップ」や広島駅前エールエール地下広場で行った「庄原丸ごと紹介」でのアンケート調査などを通じて、広島市、福山市などの瀬戸内沿岸の人たちへの情報提供や交流が行き届いていないことも分かりました。

エールエール地下広場でのイベントでは、庄原市在住の写真家にお願ひし、庄原市の自然、人、食、祭り、暮らしなどをカメラで撮ってもらい、地下広場の大型モニターに映し出し、行きかう人に見てもらいました。アンケート集約で「もっと庄原市の情報が知りたい。行ってみたい。新鮮な農産物の提供をしてほしい」など、庄原市への関心は高いようです。

この事業は市域外の人との交流や定住の取り組みもあります。庄原市に住んでいる人たちが、いきいきと暮らしていくための住民自治の取り組みのお手伝いでもあります。外の目、内の目の知恵やアイデアをつなぎ、人と人がつながることで、新しい交流が生まれ、庄原らしい住民自治が出来上がるのではないのでしょうか。都会に住む「ふるさと」を持たない人たちの「ふるさとづくり」にも庄原市の皆さんの協力が必要です。来年度も継続して事業ができるよう内閣府に「地方の元気再生事業」を継続申請しています。ソフ

元気再生事業の事例



里山の「世話好きおばちゃん達」いきいき元気大作戦事業

市内のさまざまな活動を実践中の「おばちゃん」たちが、交流・連携できる場、仲間づくりを応援します。また、おばちゃんたちによる地域活性化のための事業を支援します。

のろしりレー（山内・高地地区）
山内自治振興区と高自治振興区が、かつての通信手段を再現して交流を深めようと、城跡で「のろしりレー」をしました。

帝釈もみじ祭り（帝釈地区）
帝釈自治振興区などが20年ぶりに実施。まつたけうどんや栗おこわなどを販売しました。



市域を越えた都市と農山村の共生型観光の実験事業

地域住民と都市住民が一緒に考えた観光メニューやルートを、モニターツアーとして実施します。

● 里山満喫・満腹ツアー（敷信地区）
庄原市の女性団体と広島市民との交流事業で、庄原市の自然と食の豊かさをPRしました。

● 高暮自然体験塾（高暮地区）
農村の自然を通して、子どもたちの食育を行い、食の大切さを学びました。

● 庄原市で体験したいことを考えるワークショップ（広島市）
広島・福山市在住の中国・地域づくり交流会メンバーなどが集まり、庄原市の魅力探し、体験メニューづくりを行いました。参加者は地域資源の豊かさに驚いていました。

● 元気な庄原まるごと紹介イベント（広島駅前エールエール地下）
庄原市の魅力を多くの人に知ってもらおうと、庄原市の自然・食・人・祭りなどを大型モニターで紹介したり、特産品を販売したりしました。



庄原まるごと紹介イベント



ワークショップ



里山満喫・満腹ツアー

取り組み 3.

集落内での「里山暮らし」お試し体験事業

新しい住民を増やしたいと考えている自治振興区で、短期間の使用が可能な空き家を提供してもらい、田舎暮らしに過ごされる都市住民に実際に生活体験してもらいます。

● 小鳥原地区空き家整備
小鳥原地区の空き家を地域の拠点にしようとして、地元住民とNPOが協働で整備。座板の修理、障子の張り替えなどに汗を流しました。

● 是松地区空き家整備
古い民家の活用を自治会とNPO、そして所有者を交えて意見交換しました。地域の拠点づくりにみんなが知恵を出し、夢が広がっています。



是松地区空き家整備